

## 大切にしたいこと

十日町市立中里中学校 1年 吉樂 心

僕のおじいちゃんは、農業をしています。ニンジン、アスパラなどを大きな畑でたくさん育てています。僕は、山の仕事が好きで休みの日はよく手伝いをします。収穫をしたり選別やニンジンジュースになるニンジンをグループホームに運んだりしています。グループホームとは、地域にある工房なかさとというところなんです。いろいろな障害を持っている方がいます。そこで、ニンジンの皮むきや袋詰めをしてもらっています。皮をむいたニンジンは、ニンジンジュースになります。運びに行くと、出迎えてくれます。「久しぶり！」と、手を上げてあいさつをしてくれます。ジュースになるニンジンを運んでいる時に、がんばれと応援してくれます。僕は、会議も見たことがあります。メモをしている人や外を見てる人もいました。日直のようなことをしている方もいました。グループホームにもいろいろな役割りがあるんだなと思いました。帰るときは、今度はいつくる？と聞かれます。すごく近くによってきて話す方もいました。僕は、小学校のときにいじめにあって、3年生の途中から4年生の終わりまで学校に行けませんでした。その時に会った人や、いろいろな経験をさせてくれた人の中に、工房なかさとで仕事をされている人にたくさん勇気や希望、笑顔をもらいました。僕は思いました。障害なんて関係ない。皆一つの命があって、その命は皆同じだと思いました。へんな目で見たり、はなれていたり、悪いこと教えたり、何かをいうと笑ったりしているところを見かけることがあります。学校だけではなく学校以外でも見たことがあります。そんなところを見ると、すごく悲しくなります。イライラすることもあります。自分がいじめられているような、そんな気持ちになったり、自分が言われているような気持ちになったり、とてもつらくて悲しくて、心がばくはつしそうになります。なんでそんなことするんだよ！なんでそんな目で見たり、笑ったりするんだよ！なんで、なんで、なんで、と言葉に出せる自分がいたらなあと思うことがあります。でもそんな僕でも笑ったり、気持ちわるっとか言って友達とそんなわるいことを言ったりする自分がいます。家に帰るとものすごく悲しくなってしまうこともあります。そんな自分がキライです。世界中みんなが気持ちよく理解しあってくらせたなら、もっともっと仲間がふえたり、障害をもっている人の気持ちを考えたり、みんな一緒に遊んだり気持ちよく笑いあったり、そんな世界になったら、仲間はずれや、からかい、そんないじめが少なくなるのではないかなと僕は思いました。されて、イヤなこと、気持ちがよくないことを、自分でも考えながら生活していきたいです。工房なかさとで会った人は、どんなときでも気持ちよくあいさつをしてくれている言葉をかけてくれます。初めて会った僕にも声をかけてくれました。いろんなことを思い出して苦しかった日や、たくさん泣いて夜眠れなかった日や、学校へ行きたくてもなんだか気分がのらない日、みんなのことが気になって仕方がなかった日、

自分がどう思われているのかすごくすごく気になった日、どんな日でも、ニンジン  
を運んでいくと、何もなかったかのように、声をかけてくれました。なにがあったか知  
らないし、僕もその人をよく知らないけれど、すごくすごくかがやいて僕には見えた  
ことは、僕にとって、すごく大切な時間だったんだなあと思いました。一緒に運びに  
行くか？と、何回か聞かれていたりしてなかなか行けないときもあったけど、行って  
みてよかったです。自分がもし悩んでいなかったら、こんなふうに話しをかけられた  
かな？と思うこともありました。今でもできないかもしれないです。できること、で  
きないこと、ちょっとがんばればできることは、どんな人でもみんな同じだと僕は思  
います。僕は今、中学校がすごく楽しいです。教室にも入れています。給食もみんな  
で食べれるようになりました。先生や友達が大好きです。そして僕は、すこやか教室  
に入って勉強をしています。でも僕は、すこやか教室に行くことがすごくイヤでした。  
それは、なんか変なふうに見られなくなかったからです。でも実さい入ってみると、  
そんなことはなくて、また新しい自分に会えた気がしました。僕は僕。君は君という  
ように、一人一人の友達やこれからまた出会う人を大切にしていきたいです。おじい  
ちゃんが作っている、秋のニンジン、冬の雪下ニンジンの時期が僕は楽しみです。ニ  
ンジン運びに行くときは、次は僕から話しかけよう!!と、思っています。